



## ロボット手術のお話

みなさんはロボットと聞いてどのようなものを想像しますか。

ドラえもんや鉄腕アトムのように自分で考えて動くロボットや、ガンダムや鉄人28号のように人が操縦するロボットなど、ロボットにも色々ありますが、手術用ロボットは後者です。人間が操作して質の高い手術を可能にする道具のひとつで、2012年に日本では保険適応になっています。

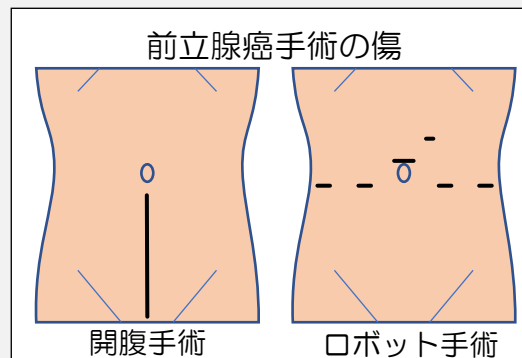
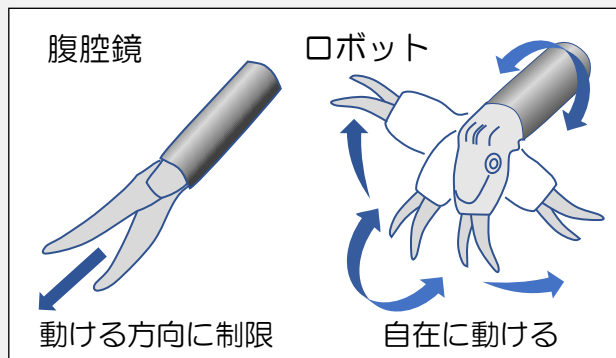


手術方法の発展を移動手段で例えると、歩いて目的地に行くのが開腹手術、人力に道具を組み合わせた自転車が腹腔鏡手術なら、ロボット手術は機械を使ったバイクや自動車に相当します。目的地に到達する（病気を治す）ためにとても便利な道具ですが、安全に使うためには教習（トレーニング）と免許（認定制度）が必要であることも同じです。最近では自動運転の車もありますが、手術ロボットに関してはまだ未来の話ですね。

### ～ロボット手術の特徴～

小さな傷から入れたカメラや手術道具を機械でコントロールして手術を行うため、開腹手術に比べて回復が早く痛みが少ないです。腹腔鏡手術では傷を小さくするために様々な制限が加わりますが、ロボット手術ではたくさんの関節を使って道具を操作することで複雑な動きが可能になります。さらに複雑な動きだけでなく、動きの倍率設定を変えたり、手ブレを補正したりといったことも可能で、非常に繊細な動きをすることも出来ます。

ロボットを駆使すると、内臓を背後から見たり、体の奥で精密に縫ったりと、開腹手術や腹腔鏡手術で出来ないことが容易に行えるようになり、より安全で質の高い手術が可能になります。



当院では2022年12月に手術ロボット（ダヴィンチ Xi）を導入し、泌尿器科と外科で手術をしています。既に他院で実績のある認定医師が在籍しているだけでなく、その上でより安全で最新の医療が提供できるように手術室スタッフ全員で研鑽を重ねております。ロボット手術の適応がある患者さんには担当医師から詳しく説明させていただきます。

泌尿器科 岡所広祐

# 認知症初期集中支援チーム

認知症の最大の原因は加齢であり、誰にでも起こりうる身近な病気です。

高齢者白書によると、2025年には高齢者の5人に1人、20%が認知症になると推計されています。

国は、認知症の早期発見や診断、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。

当院でも、もの忘れが増え心配という方、被害妄想や徘徊などの症状で認知症介護に悩んでいる方を対象に、毎月第2木曜日に認知症相談看護外来を行っています。

完全予約で1時間枠を設け、ゆっくりお話をお聴きしています。

また、枚方市より委託を受け、2023年4月から認知症初期集中支援チームの活動も開始します。



対象は、40歳以上で、認知症が疑われ、在宅で生活している人の中から

- ①医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人
- ②医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している方

複数の専門職でお宅を訪問し、何らかの支援やサービスに結びつけるなど自立生活のサポートを行っていきます。お困りの場合は、まずは地域包括支援センターにご相談下さい。

認知症看護認定看護師 藤原 則子

## おつまみにも◎ アボカドと豆腐の簡単和え

### 材料 (3~4人分)

アボカド	1個
絹ごし豆腐	1/2丁
焼き海苔	1枚
ごま油	大さじ1
塩	小さじ1/4
白ごま	大さじ1
かいわれ大根	お好みで



### 作り方

1. アボカドと豆腐を1.5cm角に切ってボウルに入れたら、塩・ごま油を加えて混ぜる。
2. 1に白ごまと焼き海苔をちぎって加え混ぜる。

### アボカドは変色しても食べられる？

アボカドに含まれる酵素が空気に触れると、酸素と結びついて酸化し、メラニン色素が作られて黒く変色してしましますが、食べても問題はありません。

お酢やレモン汁、オリーブオイルに含まれる成分が変色防止効果を期待できるそうです。

しかし、傷んでしまって黒く変色し、異臭も放つような場合は食べないようにしましょう。

管理栄養士 植園明子

## 枚方公済病院

## 理念 医療への貢献と奉仕

### 基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。